

エコツーリズムのご案内

2008年(平成20年)4月、政府によりエコツーリズム推進法が施行されました。その概念は「自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任をもつ観光のありかた」としています。エコツーリズム推進法では、①自然環境の保全 ②観光振興 ③地域振興 ④環境教育の場としての活用を基本理念とします。以下によく聞かれる言葉を簡単に紹介します。

□ 着地型企画とは

都会の旅行会社が企画主催する「発地型プログラム」に対し、地域で今まで気付かなかった観光資源を発掘し、商品造成して案内します。訪問者は現地で集合、解散する新しい観光の形態です。

□ 原風景とは

幼・少・青年期における自己形成空間で、心の奥にしまいこんだ原初の風景です。景観と異なり、人の生活が入りこみます。両親のお手伝いをした棚田、幼なじみと遊んだ記憶、通学に利用した鉄道やバスの車窓に映る風景、山菜や魚の収穫に心がはずんだ山と溪流、つづら折れの生活道などです。

原風景とは、育った環境や年齢・感性により異なって映る心の風景です。都市部で故郷が大きく加工された場合は、訪問先で原初に似た風景に出会うと郷愁を誘う「心象風景」としてよみがえります。時の流れがゆっくり感じるのが特徴です。

□ 森林セラピーとは

1982年、林野庁発信の「森林浴」が起源となり、その効果を科学的に検証するため、林野庁、厚生労働省、大学、企業で「森林セラピー研究会」を発足し、人の生理的反応を医学的に計測し評価されています。森林セラピーは、医学的なデータに証明された森林浴効果で、健康維持と増進・病気の予防が目的です。生理反応では①唾液中のストレスホルモンや心拍の変動 ②血中の抗ガンタンパク質の変化などを読み取り、森林の効果を解明することが可能になりました。医学的に難しいことは別として、森林では人に備わっている五感(視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚)を働かせて接し、たくましく生きる樹木から生きる力と自己防衛能力を授かりましょう。

□ ロングトレイル「ロマンの道」とは

ロマンとは、辞書によると小説、物語、特に長編小説。および、人の心をひきつける夢や冒険に満ちた事柄。またはそれにあこがれる気持ちと書いてあります。

氷河期の50万年前、北京原人が火を使った痕跡があり、人類の誕生から続くかすかな踏み跡は万年単位で人の往来があり、道に進化して文明を築き歴史と文化を育みました。

ロングトレイルには必ずスタートとゴールがあり、それをつなぐ「一本の道」で50km以上で数百kmのコースです。欧州ではスペインのサンチャゴ巡礼道、チベット巡礼道などがあります。国内では、熊野古道、四国遍路、近年では東海自然歩道、開発中の道としては「みちのく潮風トレイル」があり完成が待たれます。また江戸時代初期、徳川家康が設置した旧五街道も、ウォーキングが移動手段のためロングトレイルの仲間とします。

「ロマンの道」の魅力は、その地に生きる人々との出会いとふれあい、過去の歴史の痕跡に感動。歩く速度で移り変わる風景。また健康増進が最大の魅力です。新しい自分の発見があるかもしれません。

企画開発は、一本の道を設定しIT(情報技術)で解析して設計します。エコツーリズム情報を掲載したオリジナルの手作りマップを作成して、マップ片手にガイドさんが案内するロマンウォークです。

■ インターネット関連情報キーワード

- みちのく潮風トレイル